

カラチに恋しているのか。カラチへだまて行くのだと頑張
っていたが どうも やって来なかった。

山口君も初のフライトで、海外も初めてのせいか、すべて
がめずらしい風だった。彼とワールド語の本を取り出し
さっそく、ホステス相手に練習

Thank you シュー グリマー
You are beautiful アープロ グラス-ラート ハイ
tea please ティー ラオ
water ハニー

etc. 楽しくやりました。マニラでちよこ機をおり、又、飛び立つ

東京 → マニラ 4h 05

マニラ → バンコク 2h 55

バンコク → カラチ 6h 00

Total 13h 00 の旅

カラチ空港から静岡登攀クラブの秋山さんと同行
願いの P.I.A. のサセル 利氏、日P. 株のイキル氏と
空港近くの Mid Way Houseへ、西氏に通関の手続
を依頼し、マニラの通関の申請も完了できた。

バンコクでは、すごい風雨に合い、びっくりする。(もちろん
肌は冷たいが) マニラの暑さは、ちよこ ちよこの湯気を身体全体
に受けている様な感じであった。

16 June 1974

日曜の早朝、カラチに着いたので今日は何もできず、
しかたなく、Hotel でぐらすり、ぬむる事にした。

AM 8:00 ~ PM 2:00 まで寝り、それからカラチの田舎の
sightseeing に出掛けたが、悪いタクシーの運転ちゃん
につかまり、60 Rs もぼられた。(やしい)

カラチ 第一印象

" Karachi Kanechi 枯地 "??

木や草の緑と土の茶色のコントラストの強い町で、一種捕
獲の異和観をおぼる。身がまえるような心理が反射
的に起り、ああやうい、キビシイ所へ来たかと思ふ。が
それもじきに取れて、だんだんくわしい所まで目が行
き、出して、そうすると、なかなかおもしろい所が出てくるよう
にも思ふ出した。フリフロンビーズ、動物園等廻る

Mid way House のティは、大ききゆうすに糸工場の
うまのをたふり入れて、もってきてくれるのでとてもうまい。
Hotel のポーンにサントリーの角を飲ましてやたらとても
うまそうに飲んでた。

17 June 1974

日ハのアキル氏と Karachi 地区では 1日 60RS
地方では 100RS の guide 料で interpreter として
Jawed 氏を 静岡 登攀クラブの秋山さんと共同で
契約。各省との交渉に当る事とした。

プロパンガスは P.I.A. 便で Rawalpindi まで空
輸し。その Agent として Aquil 氏を通じ。

Mr. MOHD YOUSOF

% IRFAM Co

508, Qamer House,

Bunder Road,

Karachi, Pakistan

に委任状を作って、お願いする事にした。Bill Sheet
がまだ着いていない。K

Karachi 警察へ出頭し、3ヶ月間の滞在許可を入手
した。(アキルさんが 18日朝受取りに来てくれた)。

プロパンについては完全に失敗した。不正ではあるがア
ナカンの装備の中に入れてしまった方が速く行ったと思う。

リゾンオフィサーと High Porter の生命保険のかけあ
いに State Insurance へ行って、いろいろ調べてみたが、
前例ができたとして Rawalpindi で 10RS/1000RS
の Rate で 掛け得る事がわかり、ヒンデスへ直行する
事とした。(18日のこと)

兼松江商へあいさつに行き、さっそく Telex
発信する。Report No. 1.

昼食は秋山氏と、カラチ市内のホコンハウスへ行き、
中華料理をもさばった。味は日本で食べる場合とさほど
変化なく、まだ慣れない Pakistan にとっては、実にうまいもの
に思えた。

江商の検査員さんから登山終了後は必ずカラチへよって、くれ
との事であった。

18 June, 1974

1. マキル氏が Agent をつれてやってくるので 700110N
ガスの送達と通関を依頼する。 ※分ok → 700110N 未着
2. 保険を STATE INSURANCE に契約する。 ヒコシテ
3. 山口を秋山さんと PIA 本社に Naseer Ali 氏の
同行で Rawalpindi ↔ Skardu の空輸が
いに行かせる。 New plane coming で OK
4. 警察へ 3ヶ月の滞在許可を取りに行かせる。 OK
5. 領事館へ あいさつに行く。 できず。
6. Karachi の City Map があれば 手に入ること Pindis と同じ。
7. Aquil 氏の 名刺 をもらう事 OK

Jawed 氏の Karachi ↔ Rawalpindi ticket 874 RS.
井上支給。

滞在許可には写真が 4枚必要である。

夜は Hotel Farooq というカラチの古い市内で 日P 親善の
夕食会を マキル氏の 取はかりで行なう事となった。 PIA
の ナセル・マリ氏、マキル氏、Jawaid 氏、その他 2人とあ
とは、秋山氏、井上、山口 の 8名で キン料理や、ナン
それに どのがらしの ミートピクルス 等食べた。

お生のうしろに 目のさめる様な美人がいて、山口はうまく見守
ができた様だ。

19 June 1974

- 通関料 (594-00)^{*} (Tourism の徴収の元、70を
700 RS 加える) 支払 井上
- イスラマバド 往復 30 RS
- 空港、10973-1 往 5 RS
- 帰 63.70 RS (秋山 Party 244 RS)
- トラックターター代 110 RS (55 RS は秋山)

Karachi → Rawalpindi → Hotel

PTDC → 日本大使館 → Hotel → 空港 → Hotel

ア+カン荷物引取り OK. Park Hotel へ 入る

Am 9:30 Rawalpindi 到着. PTDC 出頭.

Jawad 氏は 神戸 静岡.

朝の 5時 → ヒンダイの便で Rawalpindi へ 行く. 静岡の本隊が到着し、空港で 5時 30分 インタビュー (ラジオ パキスタン) Pakistan の 国のゴマをあておく. 特に女性が美しい点 強調しておいた. Jawad 君を 静岡 Party と 共同で interpreter として 雇う事したので 彼も ヒンダイへ 同行する. 機内食は 1つ くらい 食べた.

ア+カン荷物引取りの 許可書 もらいに T.D. グレシー さんも 訪問する. Bill Letter を 大使館 まで 行って 取ってきて. 空港へ 行き 荷物 check を する.

通関料は 1ヶ 6RS で 済む.

通関に 必要 な 書類

1. A form 申告書 (First Landing Point で 行くと)
2. Invoice (内容は あまり くれぐれ ない cool 明記)
3. Permission
4. Bill sheets (Letter)
5. T.D. 添書 (グレシー 氏)
6. Passport

往時は film list が いったらいいが 今回 いらす. 又 不慮の Decla-
ration も いるのか いらぬのか は 不明.

20 June, 1974.

1. TMAのBill sheetがEmbassy of Japanにとどく。取りに行く。
2. 昼食は中華料理。(ホコンレストランの山口と二人で行く)
3. 手紙を書く。坂本さんへ。現状報告する。
4. Telex 入る。(Park Hotel から Tel to Karachi)

秋山氏のPartyがヒガンオオサマとのbreedingを完了する。
我々は今日は一日休みとする。

~~473-代~~ 秋山 - Jawed 氏は神戸

Mrs Davies Private Imu にとまる様打合せしていたが
情勢の変化からMuree RoadのPark Hotelに滞在す
る事になった。

21 June 1974

8:00起床.

今日は、静岡登攀クラブのメンバー全員と我々各名で旅行相と会見する。

会見の内容は、

1. 110-ミッションに対してお礼。
2. 我々は、一年前に application を作成し提出しているが permission のおけるのが4月で準備が非常にいそがしい。従って、もっと早く permission を下してほしい。
3. トッキングと登山との区別を明確にしてほしい。
16000 ft. (5000m) までをトッキングとする。
4. 今 ガスガンズを作成中である。
5. トッキングでも、ギルギット area は国境に近いので permission がいる。
6. 来年から Royalty を徴収する事にしている。
7. 来年はもっと easy に Mountaineering ができるようにする。
8. 我々は Teram Kangri の登山をしたいのだがどうかと尋ねたが、来年は easy でおろすとの事。

773-一代佐藤 秋山さん支払い。25, 20 waiting, 25. Rs

Jawed 氏は 神戸 静岡。

朝 5.00 昼 8.00 - 12

tea. 1.5 26 RS

Guide 料

18	50	13	20	1874	91	437
19					91	244
20						53
21					91	24.5
22					154	- 38
23					154	705.5
24				33 Rs.	100	100
25				↓	100	100
				50	50	50
						831 RS.

航空貨差格精算
9日

68 Rs * 1/2
900 Rs *

22 June 1974

- 23日 写真取り, photo studioへ行,
- 24日 20:00,
- 25日 Liaison Officer.

今日は本隊が日本を出発の日だと考え77日を過ぎます。

AM 9:00 Tourism Division を訪ね。

PHONE 63847

MAHMUD ALAM KUREISHY
ASSISTANT CHIEF

AVIATION AND TOURISM DIVISION
MINISTRY OF DEFENCE
GOVERNMENT OF PAKISTAN
ISLAMABAD

に合う。今後のスケジュール等を話し合う。その後 Deputy Commissioner へ彼からの依頼状をもらう。これにより, Bager, ghee の購入許可を取ることができるといった事であった。Liaison Officer と行くのが Better だということである。

100,000 Rs

70,000

30,000 Rs

20

24

Rs 1000

700

2400

100 Rs

410 x 300 = 123,000 保険料

- 金料買込のための Permission 入手。Tourism Division の承認入手。
- T.V. 用 Introduction を作成する。
- present は、出発前に Jawaid 氏に相談して check し、夜中タニング等も考える必要がある。
- Liaison Officer がきたら、すなわち briefing が終わった後、すべての行動は Liaison の check のもとに行われる。photo, dallen exchange, P.T.R.C. F.S.D. 等及び, porter の雇用、支払い、その他、Insurance 等も、特に写真については、注意しておく必要がある。
- 14日スタンでの下調べもほとんどおわり、いよいよ明日は、本隊の Rawalpindi 到着である。
- Tourism Division からは、Assistant Chief の KUREISHY 氏、Assistant の ANIS, FUSAIN の3氏ともに出迎えてくれるという事である。

23 June 1974

本隊カラ干着。そのまゝラフルボンデスへ出発する様お願
いいたが。Telexが日本へとどいておらず。カラ干の Mid
Way House に滞在するつもりであった。Tourism Division
の イニス氏、フセイン氏と Jawaid さんに井上、山口でワイルド
映画 AR BREE (ア・ブリー) を見に行った。

双子の姉妹がある良家に生れ。私は

0. ~~hero~~ ヒーロー役 Mohammed Ali. ヒロイン
Shabnam で Shabnam が美しい。ダンスあり
ラテン系あつたのいい映画である。三十は良い
ものを。5ルビで。多くの女性も見に来ており。おど
したものであった。しゃべっている内容はワイルドでわから
ないが筋は良くわかつておもしろい。いい場面になると
観客が手をたたいて喜ぶのが人間的である。今日の
日本の映画館では決して見られない事である。

TOSHIHO TANAKA

24 June

AM 9:30. KUREISY 氏の office へ出頭する。

- (1) 昨日の礼とあやを言う。
- (2) 名刺をわたす (隊長)。
- (3) Briefing は、今日の。もしくは明日になる。Marron
- (4) 空手オーストラリア

ワゴンオースターの部屋をリポートする

○ 加工 写真の件

使用済フィルムは、マムン氏にわたす事

○ \$1.00 ↔ 9.70 RS

National B

25 RS

15 ~ 20

↓ 10 RS

19 ~~15~~ lb

tea

Total

\$80 オース

80

1 ~~1~~ ~~オース~~ → 4 person

80人 ~~オース~~ 1.4

180 オース

90 ホンド

砂糖

??
2800

in - porter

4. ホンド 6 オース

35 "

22 lb	tea
18.5 lb	sugar
15.0 lb	tea
	sugar
	milk

1.4 lb

365 lb

2360

ホンコンレストランで夕食会。

静岡登攀クラブと神戸登山会の主催で Tourism Division の J 氏をまねいて夕食会を開く。出席者は、クレラーさん、アニスさん、フセインさん、秋山さん、さん、ワゴンオスターのフェル君、田中隊長、井上、マムン君の9名である。いろいろお世話になったという意味を含め、Jawaid 君を招いて10名の会であった。Jawaid に言わせるとこういう会をむくのが最も良いやり方との事である。

アニスさん、フセインさんは毎日の様に Park Hotel へやってきて、いろいろ仕事を教えてくれる。その返礼として、昼食、夕食は必ず共にした。

25 June 1974

1. Pakistan @ N. Flaz. this evening
2. ~~Permission for ghee, sugar & Atta~~
3. ~~Insurance payment 1974 Rs~~
4. Map
5. 405/1 → open market
6. ~~Money change~~
7. 502+14
8. 701102ガス
9. ~~701102ガス~~
- 10.
- 9.

- 40: 酒井 Party
1. 長ばこ.
 2. some food

resistration is Skardu してやるのが better.
 New form. はあるが、for the expedite.

therapy

60kg
 1
 0.5 | 600

1kg → 1

1lot = 460g

resistration

ghee atta sugar の購入許可を得る.

Deputy Commissioner から許可を得る. ghee atta
 等は. 配給制度を取っているが open market のものがあ
 り. どちらでも買えようであるが多量になり正式な隊であるし.
 ルートを通じた方がよいわけである.

このあたりの system がよくわかる国である. うちさん我々
 中本佐. Mamoon 君も. そのへんの system がわかっている.
 ない.

26
~~27~~ June 1974.

1. 70口ハンガリー
 - 明日、エディキさんへ Jawaid さんへ 電話にて確認する。
 - Anis 氏にも連絡する。

MR Anis, phone no-68304 office
Rawalpindi

Office 1111 Karachi
Jawaid, phone no-51550

橋, 道路, 山

Tel No, 20181 Embassy of Japan.

在印日本大使館
Tel. Islamabad. 20181.

General Head Quarter Road Map の
copy を入手するのには GHQ の許可をとり、それから GS of P
に行き地図を買う。

But-

Mrs Davis Hotel へ check に行きたが、カラチ
→ Rawalpindi への Bill はきていない。

11	202	
11	203	
11	204	
11	205	
11	206	
11	207	
11	208	
11	209	
11	210	
11	211	
11	212	
11	213	
11	214	
11	215	
11	216	
11	217	
11	218	
11	219	
11	220	

June 1974.

1. トラックの年配

2. 18 Bags →

atta 1800 lb low porter
472.5

milk	240 lb	✓
atta	2000 2400 lb	✓ (except) members
sugar	240 lb	✓
ghee	150 lb	✓
tea	25 lb	✓
onion	8(16) lb	✓ today
rice	150 lb	✓

milk & atta & その他の規定が今年も変わって Liaison Officer
とのトラブルの原因となる。計算の基となる資料をこちらに
明示してもらえばすべてはうまく行くだろう。

1. フィルム

Ministry of Foreign Aff. へ 177 を提出して
もらう。してやる。

2. Equipment の check. Hi portors
check 後. Liaison
未定ね。 Today. 5:15

3. Shopping

26日 購入分 (リエゾンと買いに行く)
a. ~~sugar~~ sugar ~~tea~~ tea milk rice
25 lb

b. atta onion 27
リエゾン オフサー と買いに行く。

7:00 PM
c. ~~N. Flag~~ N. Flag 今買いに行っている。

+ forges gas or 79 gas.

used films 6月26日

No. 6 まで

~~books. wood. 14 pairs.~~

~~market. 7~~

~~to. 7~~

~~7~~

~~L. wasted 1
Liaison
Officer~~

(115)の12セ-9-をもう一枚加える)

金料のcheck

September 5 ~ 10日

27th June

already bought
with you. 280 lb.

1. shopping of atta
- 2.

26 June 1974
 for the Food expenses
 * 1500 RS from 28 Jun 74
 to 10 Sep 74
 Received — M/maid
 Lt.
 26/8/74

↑
 リゾンオフィサー Mamoon 君に 食費として 1820RS を支
 給. この領収書である.

$$\begin{array}{r} 15 \\ 214 \\ \hline 60 \\ 15 \end{array}$$

リゾンオフィサーのヒストルを買いにガン shop へ行く. その日
 1) あたりで High Porter の不足衣料等も買う. スカピオアも買
 った.

いろいろおめむがら Liaison Officer の Mamoon 君と共同
 で作業を進めなければならぬ. 一通りの仕事を終えたら
 Mamoon 君は宿舎の所へ行くと言ってでかけてしまった.
 我々 8 名は全員そろって夕食会をやろうと再びホコン
 レストランへ出掛けに行った.

Special Pani をたのんでかきまいる. いろいろスープや野菜
 タル等食べる. 帰りは ツーリストワゴンに乗って帰っていった.

ghee 620 RS
flag 30 RS

Socks 14 per Rs 8 each. Rs 112

Wesf 7 pairs 70 RS

worsted shirts 26 x 7 182 RS

$$26 \times 6 = 156 + 20 = 176$$

65 RS

for L.O.

65 RS

(241 RS)

KOTIV

500 RS

trousers

7 pairs

154 RS

後飯の作事

transportation 1200 2 330 RS

3 1/2 RS / lb

50

1/4

application air transportation
first air flight

28 June 1974

スカルドへのルート

6:30 起床. 8:50 トラックがやってくる. Park Hotel の人々に 手伝ってもらい. まず 荷物 を 積込む. トラックは 8 ton 車で. 8 ton 積みは. インダス川の悪路で シャンプレンから安全であるか 何とか言っ. さらに 荷物 を 積み込み いった. 11:30 ころ 再び トラック が 帰ってきた のに 我々の 荷物を 積み込むと カラフルな トラック には 荷物が なかった.



10:50 ラワルピンディへ. Diesel オイルの供給制限のため 途中. 何度も ガソリンスタンドへ 立ち寄り. 給油する. トラックの上から ピンディの街を見ると. タクシーでは 壁が 壁になって 見る 事のできない所

まで 見る おもしろい. ピンディを出ると すぐに ステップ 70 になって. 道路の 両側以外 は 木も まばらに なかった. パンジャールへの 道を しばらく 行ってから. マブダバードへの 道へ 入る. 豊穡地帯で すばらしい. マブダバードは 緑の多い 高原地帯で 避暑地 になっているのか イギリスムトが いたる所に見られた. 標高 1200 m 程度. 涼しい所 だった. マブダバードの レストラン. モナリザで ローストチキンに ice cream を 食べる が とても うまかった.

入口の池には 金魚が びっしり いた. 記念 写真を撮るといって 休む. タンギーの 写真が 撮れたはず

である. 朝の出発のころから 西内が 腹の調子を こわし 熱まで 出す. トラックの 荷台に シュラフを 広げて 休ませる.

29 June 1974

B 5/1 5/2 5/4 5/7

6:00. アタドラバードをすて。12:00ころキャン
プする。車を止めて、テントフライをかけて
ぬる。

6:00 出発 8:00 インダス川へ出る。高度570'

2:30 PATTAN 着。ニフトリをつぶして、昼食。

3:35 発。噂が広がる。

インダス川の道は右岸をいかに延々と続く。水流の幅
は広い所で200m 狭い所で50m程度。右岸は急で
3000m ~ 4000m の山も見える。インダスの水は灰色。

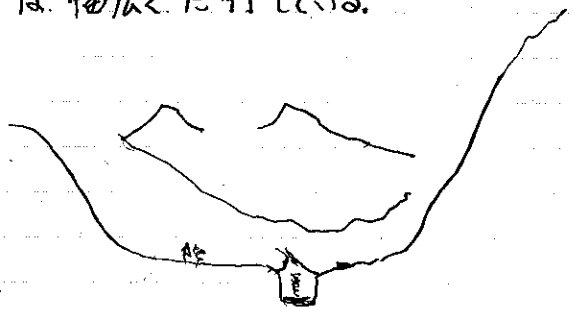
11:00 PM レトハラス 着。インダス川へ入ってしばらくは道も良い
所が多いがしばらくすると、すごいがけのふちを走る様
になる。まるでサカサの様。はるか底の方にインダスの水
が見える。

30 June, 1974

AM 4:00 起床

4:30 出発 Lotar 4:30 AM

昨日は インドス峡谷の右岸 300~400m の絶壁との道を
とろとろと進んだが 今日 谷が氷融谷となり かなり
高い かけは通らない。 広い氷融谷を右に左にインドス
は 幅広く大行している。



オアシスからオアシスの間は 全の砂漠であった 右から左が
急な山面を深く切り込んだ支流が流れてくる
茶褐色のもり 青いもの 灰色のもの 滝と苔でおおわれ
もの種々であった。

やがて 右手前方に ナガパルバットが 高くそびえた
いた。 距離がかなりあるせいか そんなに大きくは見えぬ
と言うより、インドス川の雄大さが ナガパルバットを飲み
込んでしまった様である。

インドスへ 4:00 着。 右前 左手の山に ナガパルバットが
潜っていた所。 ラキオビークの フロースマッポを取った
オアシスへ 戻る。

FB-30, ホラロイドスルー 使用 マグマ スラフ

このオアシスの高度は 1200m

オアシスの子供連数人が さっそく やってきて めずらしそうに
小生と カトラを見るので 一枚写真を取ってやる。 ラキオビーク
を Back に 小生も入る。

トラックは おぼろげで 走り続け 夜の 11:00 には Jaglote へ 着
いた。 Jaglote の 近くまでくると 夜更も冷たく、トラの 頭に乗って
Liaison Officer と オマ、平に、77人河、マ干等 知って
歌をが びりたてる。 Jaglote では 空地に グラドミートを いて
ぬる。